

《担当者名》水野 浩二（非）fevrier28-s.chip@384.jp

【概要】

この授業の概要は以下のとおりである。

福祉の哲学的・倫理的基盤。 幸福とは何か。 正義とは何か。

授業形式は、教員による講義と受講生による発表および討論の二つの方式を併用する。

社会の成員にとって幸福とは何か、正義とは何かを学ぶという本授業の性格上、受講生の主体的参加を切望する。

【学修目標】

この授業では、社会福祉学の基礎を哲学・倫理学の立場から学ぶことを目標とする。そのために現代社会における個人と社会との関係について、利己主義、功利主義、社会契約説等について検討し、誰もが生きづらさを抱えている現代社会において人が幸福に生きるとはどういうことかについて考える。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	現代社会の問題点	格差社会、利己主義、金儲け主義、理性の復権	水野
2	金儲けすることは悪いことか	金儲けと倫理は矛盾する	水野
3	困っている人を助けるとはどういうことか	結果が大事か、動機が大事か（帰結主義と非帰結主義）	水野
4	自分だけが儲ければよいのか	倫理的利己主義の欠陥、リバタリアニズム	水野
5	多数決は平等か	最大多数の最大幸福と功利主義、少数派の権益	水野
6	嘘をつくことは悪いことか	嘘も方便か、それともカントの義務の道徳か	水野
7	エゴイズムに基づく行為は反道徳的か	最高線の倫理と最低線の倫理、理性的な人間	水野
8	他人に迷惑をかけなければ何をしてもよいのか	自由主義の原則、自由と干渉、愚行権（ミル『自由論』）	水野
9	平等と効率のどちらを選ぶべきか	平等と効率は両立するか、最大多数の最大生存	水野
10	公正とは何か	正義の二原則、アファーマティブ・アクション（ロールズ『正義論』）	水野
11	ロールズの『正義論』を読む	原初状態、無知のヴェール、不平等は不正か（ロールズ『正義論』）	水野
12	ピケティの『21世紀の資本』を読む	不労所得生活者、累進資本課税（ピケティ『21世紀の資本』）	水野
13	生命の尊厳と生命の質	ベルギーのサリドマイド訴訟を例にして（水野浩二『倫理と歴史』）	水野
14	寛容とキリスト教社会	偏見と寛容、カトリックとプロテスタント（ヴォルテール『寛容論』）	水野
15	実存とキリスト教	神の前に一人立つ孤独者の決断（キルケゴール『死に至る病』）	水野

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

・期末レポート50%、発表20%、小レポート30%

【教科書】

使用せず、適宜資料を配付する。

【参考書】

加藤尚武『現代倫理学入門』講談社学術文庫、1998年
広井良典編著『福祉の哲学とは何か』ミネルヴァ書房、2017年
水野浩二『倫理と歴史』月曜社、2019年
ジョン・ロールズ『正義論』川本隆史他訳、紀伊国屋書店、2010年
ヴォルテール『寛容論』中川信訳、中公文庫、2011年
ジョン・スチュワート・ミル『自由論』齊藤悦則訳、光文社古典新訳文庫、2012年
トマ・ピケティ『21世紀の資本』山形浩生訳、みすず書房、2014年
セーレン・キルケゴール『死に至る病』鈴木祐丞訳、講談社学術文庫、2017年

【備考】

この科目は、教職課程（公民）では、教科に関する科目の「哲学、倫理学、宗教学、心理学」に該当する。

【学修の準備】

- ・ 討論型授業であるので、主体的、積極的な姿勢をもって授業に臨むこと。
- ・ 発表に当たっている学生は（毎週、翌週分の資料を配付する）、A4版でレジュメを作成し、人数分のコピーをとってくること。
- ・ 発表の担当に当たっていない学生には、各週のテーマごとに小レポートを義務づけるので、次週に提出すること。
- ・ 常日頃、新聞やインターネット等をおして、社会問題に関心をもつこと。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2,1